

ケニアで、地熱開発の技術協力がスタート

地熱発電資源は、低炭素・低コスト・安定した出力発電が期待できる再生可能エネルギーとして期待が高まっています。JICAは、日本の優れた技術を活用し、アフリカのケニアで地熱開発の技術協力を開始しました。

アフリカの大地溝帯には豊富な地熱資源が存在しています。特に、アフリカ東北部のリフトバレー地域では、地熱発電所の建設が有望視されています。地熱発電は、低炭素・低コストの安定した出力を期待できる再生可能エネルギー源として世界的に注目されていますが、試掘の成功率が低いことがボトルネックとなっています。

JICAは、これまでケニアのオルカリアで地熱発電所の建設を円借款で支援してきましたが、さらなる地熱開発の促進の

ため、日本の優れた地熱開発技術を生かして、2013年からケニア地熱開発公社の能力向上を目指す技術協力を開始しました。ケニアでは、すでに開発を進めているサイトがあるため、サイトへの専門家派遣や本邦研修などを通じて、探査・掘削・評価の一連の技術向上につながる支援を進めていきます。

こうした支援を通じて、日本企業にとっても発電設備の輸出やIPPなど発電ビジネスの参入機会

拡大、若手の地熱関連技術者育成にもつながります。



地熱の噴気試験(ケニア・メネンガイにて)